

## II 花き(切花)情報

### 11月(中旬)までの経過

高原産地や東北地方から、関東及び西南暖地へ産地が切り替わる時期で入荷が不安定な状況の中、ストック等季節商材の入荷が遅れるなど、入荷量がまとまらない品目が多かった。相場は洋花を中心に高値相場となった。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	10月下旬は前年より大幅に増加したが、一転11月上旬は前年より大幅に減少した。11月中旬は前年より大幅な増加となった。
相場	10月下旬は前年よりやや高くなり、11月上・中旬は前年に比べて大幅に高くなった。
動向	夏の高温・少雨の影響が残り、品目によって出蕾が遅れているもの、草丈のとれないもの等様々な状況により入荷が不安定となった。その一方で、婚礼、イベント需要等により洋花を中心に取引され、品薄単価高に拍車がかかった。

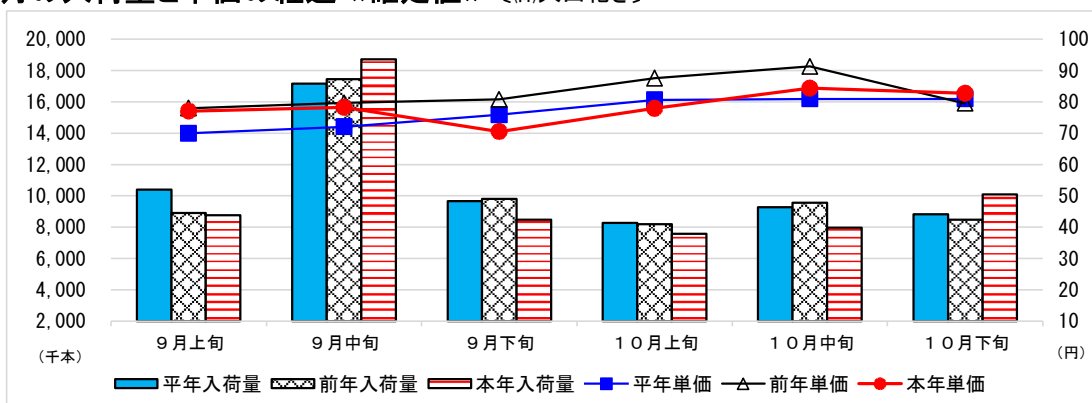
### 品目別経過

品目	経過
バラ	(株)東日本板橋花き 夏場の高温によって芽吹きが悪く若干少なめの入荷となった。
カラー	(株)大田花き 夏場の高温の影響で、湿地性、畑地性ともに例年に比べて入荷が遅れた。数量が少なく、品薄・単価高での取引となった。
ストック	(株)フラワーオークションジャパン 山形・福島中心の入荷で、11月に入り数量がまとまり、安定した入荷となった。引き合いもあり相場は安定していた。

### 12月の見通し

品目	見通し
輪キク	(株)大田花き 12月中旬までは、ある程度数量がまとまる見込み。12月下旬は、9月頃に作付けした年末向けの生育状態があまり良くないため、入荷量は昨年ほどまとまらない見込み。
ストック	(株)世田谷花き 山形、福島産は12月上～中旬にピークを迎える見込み。千葉産は予定どおり12月からの入荷見込みで、中旬以降潤沢か。昨年同様に求めやすい価格になる見込み。
スイセン	(株)大田花き 千葉は露地が例年より10日前後遅れている生育状況とのこと。12月上旬から少量ずつ入荷が始まり、20日以降に増加する見込み。高齢化・獣害などの影響から入荷量は減少傾向。

### 10月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均